

はな組

秋 ～秋探し～

1 週目 〈方向付け〉

発達領域：時間の理解



〈見つけられたかな?〉

秋のテーマの始まりとしてさっそく鶴岡公園へ秋探しに行きました! 「きょうこうえんいくんでしょ?」「なにを見つける?」「いっしょさがそう」等朝からみんななんだかソワソワ…。持っていく物や服装、お約束を改めて確認してからバスに乗り込みました。公園が近づくと、「あ!はっぱおちてる」と降りる前から夢中になって探している子ども達!中には「こうようじゃん」と難しい言葉が出てきたことにも驚きました。

いざ、公園へ到着すると真剣な表情でしおりを見ながら「これさがしたい」と目当ての物を見つけてから探す子や、まずは葉っぱを拾い、しおりの写真を見比べて「これあった」とする子、一か所をじっくり探す子等探し方や、巡り方が子ども達の中でも様々ありました。途中木の下に黄色の実がたくさん落ちていていることに気が付いた子ども達。「たべものがたくさんおちてる!」と向かいましたが、なんだか匂いが…。実を拾いにおいを嗅いでみるよう声を掛けてみると、「くさ!」「え…なにこれ。」…。

実は、この実の正体はイチヨウの木の下に落ちている”ぎんなん”でした。

「ちょっとくさいからいらない。」と拾わずに置いていく子ども達でした

(笑) 最後には神社の参道に唯一あるみんなのだいすきなドングリを探しだし、園庭にあるドングリとは色が違うことに気が付いたりしながら思い思いにたくさん拾うことができました!これからもっと秋について深く子ども達と知っていけたらなと感じた日となりました。

〈お気に入りほ…〉

秋探しで見つけてきたものの中から自分のお気に入りの物をみんなに紹介してもらいました!たくさんあるものの中からじっくり選んでいる子、捨てる時から厳選し、少しでも多く持ってきたものの中からすぐにこれだ!と決める子一人ずつ前に来てもらいみんなの前で紹介しました。いつも一緒にいるお友達ですが、いざみんなの前に出てお話をすると少し緊張気味の子も。「なんでこれを選んだの?」と聞くと、いちょうの葉っぱを選んだ子は「きいろくてかわいいから」。ドングリを選んだ子は「ちいさいから」。松ぼっくりを選んだ子は「おおきくてかっこいいから」等、恥ずかしながらもなぜこれを選んだかをしっかりお話することができました!自信満々に持ってきた”セミの抜け殻”について熱弁する子もいましたよ。自分の考えや、思いを言葉にして伝えることができるようになってきたこと、また、お友達のお話も聞こうとする姿も増えてきており、嬉しく感じました。



〈発見コーナーに!〉

発見コーナーには秋のテーマから松ぼっくりや、ドングリなどの秋の実や落ち葉、サツマイモやキノコを焼くことができるようなごっこ遊びのセットを置いてみました。葉っぱや実をすべて同じかごに入れておくと小さなカゴに実ごとに分けてみたり、本物の葉っぱと偽物の葉っぱを分けてみたりしていました!また、絵本や図鑑を置いておくと並べて見比べてみたり、「これなんていうの?」とドングリの種類の名前に興味を持つ子もいました。ごっこ遊びでは、トンゴと軍手も一緒に置いておくと、こちらが何も言わなくても軍手を付けてからトンゴを持ち、焼き芋をしていましたよ。また、「これはあつくなるからてぶくろしてからね」とお友達に教える姿も見られました!お店屋さんになり、「いらっしゃいませー、なにをやきますか?」「どれにしますか?」「どれがたべたいですか?いもときのこがありますけど」等お店屋さんならではの言葉を使いながら、自分たちで遊びを展開する姿も見られました!

はな組

秋 ～秋探し～

2週目〈見本を見せる〉

発達領域：時間の理解



〈どれにしようかな・・・〉

秋探しで見つけた宝物！！赤や黄色、茶色に変わった落ち葉やどんぐり、まつぼっくり、銀杏の実・・・自分が見つけた宝物の中からこれだ！と思う物を使って『かんむり☆』を作りました。

お散歩バックを覗くと「はっぱがいちまいしかない。どうしよう」「これじゃつけない」と何か足りないと感じる子どもたち。先生が持ってきた葉っぱや松ぼっくりも使ってもいいことを話すと嬉しそうに「きいろのはっぱないからせんせいのちょうだい」、赤い南天の実を見つけると「これなに？どこからもってきたの？」「もっとほしい」とケースを覗いたりお散歩バックの中から探してくっつけてを繰り返して黙々と作り続けていました。見本を見ながら同じように葉っぱをきれいに並べて貼る子、南天の実を並べてから真ん中に枝を付けて仕上げていた子、松ぼっくりやどんぐりをたくさん貼って「できた！」と得意げな表情を見せてくれる子もいました。

かんむりを作り終わっても「もっとつくりたい！」の声が！そこで松ぼっくりネックレスを提案すると大人気に◎・・・が人気だったのは、メインの松ぼっくりではなくカラフルな毛糸の方でした（笑）自分たちで拾ってきた”秋の宝物”を使って一人ひとりが何を使ってどんな風に作ろうか考え、一枚の紙に自分の思いを詰め込んでかんむりを作っている子どもたちの目はキラキラ ✨ していました。！！これからも見て・触れて・五感をたくさんつかいながら残り少ない秋を子どもたちと感じていきたいと思いました。

〈秋のファッションショー！！〉

子どもたちのお気に入りポイントが詰まったかんむりやネックレスを付けて、運動会のグループごとにインタビューをしてみました！「お気に入りはどこですか？」と聞くと「かんむりです！かっこいいから」と大きな声で伝えてくれる子、恥ずかしがりながらも「ネックレスです！」と応えてくれる子もいました。グループごとにファッションショー記念撮影📷カメラ大好きな子どもたちは、決めポーズをしてくれました！終わった後にブレスレットを着けている友だちがいることに気づき「ほしい！」や「作りたい！」サークルタイムが終わってから早速作り始めているのでした。作っていくうちに欲しい物なくなると「せんせいどんぐりもうないの？」ないことを伝えると「しょうがないから、ちがうのつけようか。これいいかな」と南天の実を選び、自分たちで解決策を見つけて作り続けている子供たちの姿に成長を感じた一場面でした。



〈クイズこの木はどこにあるかな？〉

”秋”の季節を体いっぱい使って楽しんでいる子どもたち！そこでサークルタイムで園庭の木の写真を見せて『どこにあるのかな？何の木かな？』クイズを出してみました。。が毎日見ている園庭の木、写真を見た瞬間に正解！（笑）みんな同じ方向を指さして「あっちにあるどんぐりのきー！」「もみじー！」とみんな教えてくれるのでした。正解の葉っぱを見せると子どもたちから「みどり、きいろ、あかにいかるんだよ」葉っぱの色の変化を言葉にしてくれる子、「ちゃいろになったらがりがりおとがする」枯れ葉の音を言う子、音のヒントで「かさかさ」「ばりばりするよ」と応えが広がるのでした。実際に正解の木のところへ行って写真と見比べをしてからどんぐりを見つけたり、紅葉や葉っぱの音を鳴らして楽しみました♪秋晴れの空にキレイな飛行機雲がかかるひとときでした😊

はな組

秋 ～秋探し～

3週目〈理解を広げる〉

発達領域：時間の理解



〈風を感じよう!〉

『お外を見てみて!!今日はどんな天気かな??』とはじまったサークルタイム。『はれてる～』『くもある』『はっぱがある』『カラスもいる』見えている園庭の様子をどんどん教えてくれます☺秋の天気は変わりやすく、風も強い。そんな秋の気候に注目です。『これは何の音でしょう?耳をすまして聞いてみよう』とスピーカーから“風の音”を流してみると...シューーン。。。

『あ、かぜ?』とひとりの子が言うと、『かぜのおと!!』とみんなの声!!『そう!風の音』『風が吹くとどうなるのかな?』『あのね、かさとかね、もっていると、ひっくりかえってね、とばされちゃうの』『そうだよ、かみのけとか、ぜんぶとぶんだよ』風のことを沢山お話ししてくれました。毎日のサークルタイムでは、人前で話す力や、対話力もどんどん育っていますよ!その後は、園庭へ。ストローにリボンをつけたものを持って風を体感!上にかかげて風を待ちます♪風が吹くとリボンが揺れ『かぜだ～!!』と嬉しそう♡でも、みんな、風を待つことよりも、自分が風になって走り出してしまうのでした(笑)サークルタイムで触れた、“台風”『これてんきでやってたよ』『ぼくもテレビでみたことがあるよ』と、発見コーナーにおいた写真をみながら会話をしている姿もありましたよ。お家で天気予報を見ているのか、『てんきは?』『あめのちくもりです!!』なんて会話も聞こえてきました♪

〈この天気はなんていうの?〉

天気の名称にも触れてみましたよ。天気予報のマークをみて、☀『はれ』●『くもり』は、みんな応えていましたが、☂マークの時は『かさ』という子が。『そうそう、傘だよ、傘マークの時のお天気はなんだろう?』ときいてみると『あめ』でした☺。前日に出てきた『台風』を覚えていて、グルグルの雲の写真では『たいふう!』とすぐにピン!ときて応える姿も!1日のうちに色々な表情をみせる秋の天気。窓から見える外の様子が変わると、それに気がつき『せんせいはれたよ』『かぜがつよい』『なんでもかぜがつよいの?』『だって、はっぱがゆれている』と、1日を通して天気を気にしている子もいましたよ。天気の移り変わりも、時間の理解へと繋がります。気持ちの良い秋の気候、だんだんと寒くなる季節の流れも体感しながら満喫したいと思います♪



〈運動会だチャッチャチャチャ♪〉

“秋”を体いっぱいを感じながら遊びを楽しんでいる子どもたちは、今どんだり探しよりも熱くなっていることが一つあります!それは。。。運動会です!!お家でも『♪うんどうかーいだ チャッチャチャチャー』と口ずさんでいる子がいるのではないのでしょうか。園庭に出ると『せんせいよーいどんしよ』とひとりの子が言うと『はしるー!』と集まってきます。早く走りたい子どもたちは、“よーい”でかまえて。。”どん”を待たずフライングしてしまうのでした(笑)歌も種目練習も全力で楽しみ、声を出して応援して勝っては両手を上げ喜び、負けては悔しがったりしながら本番の運動会を心待ちにしています♪自分の顔や家族の顔など時間をかけ運動会に飾るために丁寧に描きました。子どもたちに何を描いたのか聞いてみて下さい☺どんな応えが返ってくるか楽しみです!

はな組

秋 ～秋探し～

4週目〈理解を深める〉

発達領域：時間の理解

〈楽しみにしていたりんご狩り!〉

季節の作物を実際に見て収穫し、食べるという体験を通しての発見や興味を広げてほしいと思いりんご狩りに行きました!前日にりんごには種類があることを話すと「きいろのりんごってあるの?」「あかいのってる」「これたべたことあるよ!」と興味津々の子どもたち。中には「あかいのは”ふじ”っていうんでしょ」と名前を知っている子がいて驚きました。当日にはバスに乗り込み農園まで向かうときには、雨が降ったりやんだり秋ならではの天気を感じました。「あっちはあおぞらだよ」「こっちはくらい」等バスに乗っている場所によって見える空が違うことに気が付いた子も!お日様は出ているのに雨が降ってくると「たいようがんばれー!」とみんなで太陽の応援をしていたかわいい子どもたちでした♡その願いが届いたかのように農園に到着したときにはなんと雨がやんでくれましたが、いざこれからりんご狩りをスタートしようとしたときに雨が降り出し、雨の中でのりんご狩りとなりました。そんな中でも、赤いもの、大きいものをよく観察して選び、「これだ!」と決めたものを手を借りながら自分たちの手で取りました。園に帰って来てからすぐにとってきたりんごをみんなで試食してみました。「あまい」「あまいけどちょっとすっぱい」「かわすこしかたいけどおいしい」等感想もしっかり伝えてくれましたよ!数日たっても「たのしかったね」「おうちでみんなでりんごたべたんだよ」等お話をしてくれ、秋ならではの天気や食べ物、自分たちでとったものを家族に食べてもらえたこと等たくさん経験に繋がり、その中で楽しさや嬉しさを感じてくれたのかなと思います、こちらもうれしくなりました♡

〈準備をしよう!〉

子どもたちと”取ってきたりんごで何か料理をしてみたいね”となり、みんなの投票により、アップルパイを作ることに!作り方や使う道具を伝えると、のばし棒を見せたときには「こねこねするやつでしょ」、型抜きを見せたときには「かたぬきしたことある!」「クッキーつくるときにいっぱいしたよ」と話してくれました。最後には厨房の先生達に焼いてもらって完成することを伝え、「何という機械で焼くのか知ってる?」と聞くと「フライパン」「でんしれんじ」の二つが多く出てくる中「オープン」と当てる子もいましたよ♡いつもお家で料理をしている所をよく見ているからこそフライパンや電子レンジも出てきたのだと思いました。

実際に作る前に、道具の使い方を知ってほしいと思い粘土でアップルパイづくりのコーナーを発見コーナーに作ると、みんなのばし棒を使ってのばしたり、型抜きを何枚も作りきれいにお皿に並べたり、「はやくたべたいね」とお友達と話しながら作っていましたよ♡本番に向け準備万端な子どもたちでした!

〈おいしくできるかな…♡〉

前日にみんなで確認した作り方、道具の使い方を当日にもう一度確認し、作る前には手はどうしたらよいか聞いてみると「きれいにする」「あらう」「せっけんもちゃんとつける」とさすが花組さん!しっかり答えてくれました。最初にパイ生地を伸ばし、そのあとにりんごを並べ、上に乗せるパイの型抜きをし、飾りつけをしておしまいにしました。すべての工程をしてもらいたいと思い、グループごとで順番に行いました。事前に粘土で遊んでいたときには粘土が少し硬いこともあり、思いきりのばし棒に力を入れてコロコロとしていましたが、いざパイ生地となると柔らかいと分かってなのか、少し戸惑いもあってなのか、あまり力を入れずに優しくコロコロする子がほとんどでした!りんごを並べるときにはりんごをどうやって並べるか少し考えながら並べたり、前の子が一枚づつ重ならないように置くと次の子も同じように並べたりしている子も。型抜きではどの型にしようか迷いながらきれいに出来上がると「みてみて」と嬉しそうに見せてくれたり、「かわいいね」「これじゃうずだね」とお互いを褒め合う姿もありましたよ♡おやつの時間になり、完成したアップルパイをみると「わぁ～おいしそう!!」と大きな歓声♡配っている間も「いいにおい」「はやくたべたい」の声が止まりませんでした。自分たちで作ったものはとってもおいしかったようで「もうたべちゃった」「もっとたべたかった」「またつくろうね」「またやりたいね」などこちらもうれしくなるような言葉がたくさん出てきましたよ♡調理を終えた後も「もうおわり?」「もっとしたかった」「またなにかつくる?」等”もっとしたい!”の声が多かったので、今後子ども達の声を聴きながら調理やいろいろな体験をしていけたらなと思いました。

